

福島県急性心筋梗塞死亡実態調査（概要版）

平成31年3月 福島県地域医療課

調査目的

福島県の急性心筋梗塞年齢調整死亡率は男女とも全国ワースト1
急性心筋梗塞により死亡した者の診療記録等を調査・分析し、急性心筋梗塞による死亡率の改善を図ろうとするもの

平成27年急性心筋梗塞年齢調整死亡率（人口10万対）

	男	女
福島県	34.7	15.5
全国	16.2	6.1

平成29年度人口動態統計特殊報告

調査概要

人口動態調査死亡票より、急性心筋梗塞で死亡した者（平成29年）の診療記録等を調査員（＝医師）が調査。モニカ基準※による判定と調査員による臨床的かつ専門的な立場からの評価を実施。※WHOモニカプロジェクトで使用されている急性心筋梗塞症診断基準

調査結果

モニカ基準による判定		調査員による評価	
心筋梗塞あり 15.7%	確実な急性心筋梗塞 23	26	急性心筋梗塞である
	可能性のある急性心筋梗塞 18	20	強く急性心筋梗塞を疑う
		62	おそらく急性心筋梗塞
心筋梗塞なし 16.2%	急性心筋梗塞なし 42	67	おそらく急性心筋梗塞ではない
		59	急性心筋梗塞ではない
	判定不能 177	26	不明
	計 260	260	計

判定不能が多い!

循環器系疾患は、自宅における死亡率が他の疾患に比して高く、その結果、発見の遅れなど死因の診断が困難になっている可能性がある。

危険因子

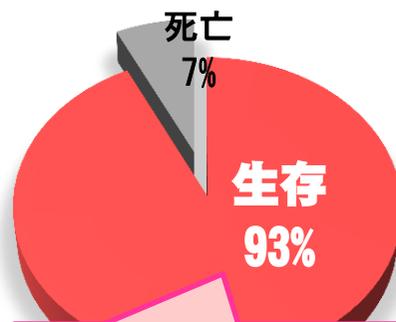
メタボ 全国ワースト3位

高血圧 全国ワースト8位

糖尿病 全国ワースト8位

喫煙率 全国ワースト4位

治療実績



病院で再灌流療法※を受けた患者の生存率は90%超。

※つまった血管を再び開通させる治療

今後の対策

- 急性心筋梗塞についての啓発事業を実施。チラシを配布。早めの受診を呼びかける。
- 生活習慣病予防、健康づくり事業を進め、発症を予防。
- 介護予防と保健事業を一体的に推進することにより、高齢者の健康状態の把握に取り組む。
- 死因診断の在り方について再検討。

急性心筋梗塞死亡率の改善